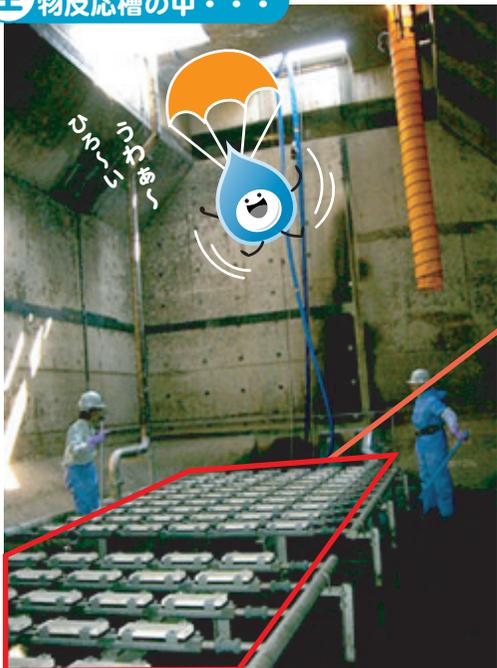


第10回 下水処理場の仕事③

清掃

処理施設では、之けや藻がついてしまったり、虫（蚊やクモ）が発生してしまいます。また、細かいゴミは水の中に空気を送る散気板を詰まらせてしまいます。処理施設が機能を十分に発揮するためにも、清掃は大切な意味を持っています。

生物反応槽の中・・・



生物反応槽の中で散気板を掃除しています。また、生物反応槽にたまった砂などのゴミを取り除いています。

最終沈殿池では・・・



最終沈殿池からの上澄み水が流れ込む『トラフ』という場所の掃除をしています。ここは之けや藻がつきやすい場所ですね。



調査

下水処理場から流れ出した水は、放流先の川や海に影響を与えているのでしょうか？川や海の変化を知るために海水、海底の泥、生き物などの調査をしています。



海水を採水容器（バケツなど）でくみ上げます。

容器に入れ、実験室に持ち帰って水質の分析を行います。



透明度の測定



海底の泥
底生生物（ベントス）

泥を洗い流すと底にすんでいる生き物が現れます。



採水(川)

川の水を分析し、放流水が大きな影響を与えていないかを調査しています。



悪臭

建物の敷地の端で空気を採取し、悪臭の調査をしています。



騒音

建物の敷地の端で、騒音の調査をしています。

いろんな調査をしているんだネ～

